

ご 挨拶



(社)愛知県歯科医師会

会 長 渡 辺 正 臣

平成24年度愛知県歯科医学大会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本年度は待望の新会館が完成し、愛知県歯科医師会として新たな一步を踏み出す記念すべき年となりました。新会館建設に伴い、多大なる御尽力をくださいました諸先生方および関係者の皆様方には、大変感謝いたしますとともに心より御礼申し上げます。

また、東日本大震災から2年が経過しようとしています。復興作業が続く中、まだまだ現地では震災の爪痕が深く残っているのが現状です。諸先生方におかれましては今後予期せぬ災害に備え、知識、技術のみならず災害対策も念頭に置き日々研鑽していただきたくお願い申し上げます。

さて、今回は「生きる力を支える歯科医療」をメインテーマに、特別講演では鶴見大学歯学部探索歯学講座臨床教授 武内博朗先生を、企画講演では日本大学歯学部特任教授 新井嘉則先生をお招きしました。

特別講演の武内先生には『歯科発ヘルシーライフプロモーションと抗加齢～歯科的食育・生活習慣改善と健康づくりのコンセプト～』と題し、口腔と全身の関連に関する講演を行っていただきます。歯科医師と健康管理士とのコラボレーションにより、保健指導から口腔環境を整え、循環器、糖代謝を改善していくことで抗加齢を実現しようという、大変興味深い講演となっています。

また、企画講演の新井先生には『歯科用コーンビーム CT の基本性能と最新の画像診断～歯根膜の重要性を高精細3次元の画像から学ぶ～』と題し今回の診療報酬改定により一部保険適応が認められた歯科用 CT に関する講演を行っていただきます。従来のデンタル、パノラマ撮影だけでは気づきにくい歯根膜腔の変化、白線の消失を読み取ることで、歯科治療に有用な情報をもたらすことを、臨床ケースを用いながら講演していただきます。

今回の講演も先生方の明日からの臨床の一助となる事を期待しております。

また、例年同様に愛知県歯科技工士会ならびに愛知県歯科衛生士会の企画講演をはじめ、ワークショップ、企業企画講演、デンタルファミリー余技総合展示など、今年も充実した内容となっております。その他にも地域レベルでは名実ともに全国一といえます「中部日本デンタルショー」も本大会に華を添えていただきます。

最後になりましたが、本大会の企画、大会準備、運営等のご尽力を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも多大なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶



(社)愛知県歯科技工士会

会長 藤野 進

今年も恒例の愛知県歯科医学大会併せて第36回中部日本デンタルショーが盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

愛知県歯科医師会を中心に愛知県歯科衛生士会・東海歯科用品商協同組合をはじめ、諸団体の皆様のご尽力に心より敬意を表し歯科医学大会が盛大に開催されますことは大変意義深いものがあります。

愛知県歯科技工士会は、コ・デンタルスタッフの一員として歯科医師会・歯科衛生士会と共に地域住民の口腔機能向上の為、協力して行きたいと存じます。

歯科技工士会は昭和30年に産声を上げ今年で57年の年月が過ぎ、その間歯科技工士法が制定し日本歯科技工士会が創立され、歯科技工士会の歴史はここから始まりました。その後、各県では先輩たちのご苦勞により歯科技工士会が設立され、現在に至っております。その間、業務法から身分法に改訂され歯科技工士の立場も少しずつ変わってきました。

「歯科技工を通じて社会に貢献する」を理念に歯科技工士会は、歯科医師と共に二人三脚で行動を共にしております。年々医療連携が進み歯科技工士が表へ出る機会が増えていると感じます。患者様に接する事で技工をする上で大変参考になり、患者様の笑顔を見る事で又自信になります。この様に医療連携をする事で専門知識を出し合っ

て地域の人達のQOLを向上する様に努めなくてはなりません。

近年、歯科技工士学校への入学者の減少で技工士学校が年々減り平成24年度には53校になっております。将来の事を考えると大変心配をしております。それに加え、技工士学校を卒業し、技工業界に就職しても2年～3年の内に75%近くが離職しております。愛知県の歯科技工士の平均年齢は54才に達しております。又、歯科技工所の8割近くが、個人経営をして常に不安定な経営を余儀無くされておりますが、日々研鑽を積まなくては、時代について行けません。この様な状態が続けば近い将来歯科医師をはじめ地域の皆様に多大な迷惑をお掛けする事になり歯科医療に対する信頼をも揺るがす事態を大変心配する所です。近年補綴物の海外委託が世間を騒がせており、国民に安心・安全な補綴物を提供する事を憂慮しております。海外委託が多くなれば、世界的に評価の高い技工技術の衰退を招く事となり将来取り返しのつかない状況になりかねません。

今年度の歯科技工士会の企画講演は「再考察！機能と審美を両立された歯科治療へのトータルアプローチ」と題してシンポジウム形式で行っていただきます。日頃の臨床の成果を発表していただくと同時に若い歯科技工士の励みになると思います。今回の歯科医学大会に参加して明日の臨床の糧にして下さい。

最後に主催団体をはじめ、歯科医学大会にお力添えをいただいた方々、参加されます皆様方のますますのご活躍をご祈念申し上げご挨拶と致します。

ご挨拶



(社)愛知県歯科衛生士会

会長 池山 豊子

平成24年度標記大会が盛会に行われますことを心よりおよろこび申し上げます。

また多くの歯科医療関係者の皆様には本会の活動にご理解ご協力をたまわりますこと、この誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

毎年のこの大会は歯科医学の「今」を結集し、私どもに歯科医療保健の目指すべき「未来」を指し示してくれます。同時にそれぞれの現場から仲間が集い、その「未来」について語り合える貴重な「場」でもあります。

開催時期は身の引き締まるような寒さの2月ですが、だからこそもうそこに来ている春の兆しを探索しながら会場を一巡することがこの大会の味わい方、醍醐味でしょう。

さて本会では歯科医学大会の企画講演を歯科診療所における歯科衛生士の質の向上、役割の追及およびその職能の拡大などを重点として企画しています。毎回この企画を通して本会が何を目指し、何を歯科衛生士業務に必要と感じているかなどのメッセージを発信しています。歯科衛生士の就業状況は90%以上が歯科診療所です。診療所歯科衛生士に歯科衛生士会という組織の役割とそこに属することの連帯感を再認識してもらい、ともに活動をするモチベーションを維持することが目的です。

またこの大会には本会に所属していない診療所歯科衛生士も多く訪れます。会の組織活動は個個では実現不可能なことを実現するためにあることを、多くの仲間知ってもらい、仲間との連携や結束が自身の業務の向上ももたらすことを、未入会の歯科衛生士にも伝えたい、と考えます。

さて今年度は予防歯科学として「マイナス1歳からのう蝕予防」を企画しました。未来の日本を担うべく生まれてくるすべての子供たちが、そのスタートである胎内から健康な心身が育まれますように、という願いがこめられています。そしてそれを実現できる可能性を歯科衛生士がもっていること、その職能を活用することが歯科衛生士の使命であること、そして一人の患者に向き合うこの業務も人類の発展に貢献する結果をももたらすこと、を確認したいと思います。

人はすべてだれかの役に立つために存在している。すべて職業は人々のために役立ってこそ存在し、就業することは「パンのためのみ」ではなく、だれかを支えることのできる自分を知って、生きていくため。だからこそこの企画を通して、歯科衛生士自身の歩む道と「歯科衛生士業務は口腔を通して人々の健康増進に貢献できる」ことの意味を多くの仲間と共に考えてみたいのです。

文末になりましたが、本大会にご尽力たまわりましたすべての関係者、関係団体の皆様に心から敬意を表するとともに皆様のますますのご健勝をお祈りいたします。

ご 挨拶



東海歯科用品商協同組合理事長
中部デンタルショー実行委員長

渡 邊 禮 巳

愛知県歯科医学大会併設「第36回中部日本デンタルショー」開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

平成25年2月16日(土)・17日(日)の2日間に亘り、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)にて約180社の参加企業が最新の歯科用器材を展示致します。初日(土曜日)は、正午(12:00)にテープカットを行い、開場と致します。

さて、「11. 3. 11」後の日本は復興がまだまだ道半ばですが、前を向いて進む事が大事だと思います。「内憂外患」「朝令暮改」一日本の国内外は大変な問題が数多山積みとなっています。この原稿は半年前の起稿のため、皆様のお目に触れる頃に各国のリーダーが誰になっているのかは想像し得ませんが、どうか争いを起こさず、冷静且つ平和的に諸問題を解決してほしいと願っています。また、山積する以外にも、海面上の問題が日本の周囲に存在発生し、こちらも頭の痛いところですね。

これらを解決できるアイデアは、双方(或いは多国間)が納得するだけの深さや幅を必要とし、尚且つ互いのナショナリズムやアイデンティティーを満足させるものでなければ、採用されません。そこで、昔の話にある「三方一両損」を関係者に教えるのはどうでしょうか。

しかし、この話も、登場する人達が正直者で相手を思いやる事のできる人ばかりです。すなわち成立する事であって、「我田引水」しか考えない思考回路の人には、所詮無理な相談というものでしょうか。

ところで、「第36回中部日本デンタルショー」では、今回も出展社による企画講演が多数用意されております(於:第1ファッション展示場)。

また、例年ご好評を戴いております抽選会も、スタンプラリー形式にて実施致します(於:吹上ホール)。御来場の際には、事前配布の「登録票(抽選券)」を是非ともご持参下さいますよう、お願い申し上げます。

私共東海歯科用品商協同組合は、地域歯科医療の向上と前進を願い、歯科診療が滞る事のないように活動しています。今後とも、ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、開催にあたりまして(社)愛知県歯科医師会、(社)愛知県歯科技工士会、(公社)愛知県歯科衛生士会各位を始め、出展社の皆様方に多大なるご協力とご尽力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げますと共に、各位益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

多数の皆様のご来場を心よりお待ちしております。